



札幌国際センター

年の初めの行事を楽しむ
「新春文化塾」

1月30日(土)、リフレサッポロのライラックホールで「新春文化塾」が開催された。札幌国際センター新年恒例の行事で、太平洋地域、アフリカ、中央アジアはじめ各国からの研修員約70名が日本のお正月の遊びや昔遊びを体験した。

「本陣太鼓」メンバーによる勇壮な太鼓が打ち鳴らされ、「白石ボニー」会員が南京玉すだれの華麗な技を披露するなか賑やかに開会し、会場に用意された福笑い、羽子板、剣玉、お手玉、紙風船などの遊びを楽しんだ。太鼓打ちや玉すだれを実際に体験した研修員たちは「難しい、難しい」と言いながらもメンバーの指導で次第に腕を挙げて

大満足の様子であった。昼には札幌センター2階に会場を移して、「寿司の家かっぱ」の職人さんによるにぎり寿司の実演、続いて昼食会が行われて、酢飯や海苔の味にも挑戦していた。



日本の昔あそびを
みんなで体験



毎年人気の
「南京玉すだれ」。
白石ボニー会員さんの
笑顔の指導が楽しい

太鼓を体感。
ホール全体に
地響きのように
鳴り渡った

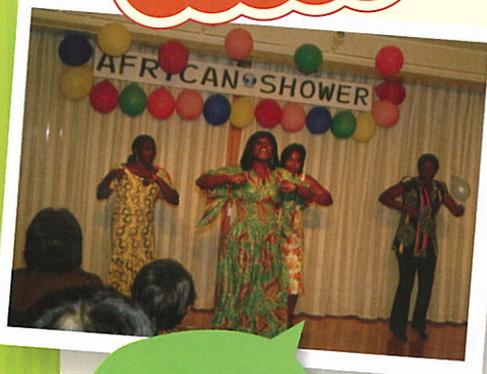


帯広国際センター

真冬の熱気
「アフリカン・シャワー」

1月17日、日曜日の夕刻、帯広国際センターのロビーはアフリカのムードいっばいに賑わった。

冬のこの時期はアフリカからの研修員が多いことから、アフリカ中心のプログラムを組み、地元市民に呼びかけて交流を行った。当日は、ダンスや歌などのパフォーマンス、クイズや各国を紹介するプレゼンテーション、そして最後に全員のダンスなどが企画された。プレゼンテーションでは、エチオピア出身の研修員の「コーヒーの話」、ベナンから来ている帯広畜産大学の留学生による国やターバンの巻き方紹介、女性



アフリカダンスで
みんな大盛り上がり。



アフリカ産の
コーヒーや紅茶
も大人気でした。

研修員による髪の毛の編み方(ブレード)の実演・披露、スライド上映などで各国の紹介が行われ、合間にはアフリカ産のコーヒーや紅茶を使った飲み物が振る舞われた。

前半のダンスやケニアの歌「ジャンボ」の合唱、そして研修員と来場者がいっしょに No one like you によるアフリカダンスを踊ったフィナーレと冬の宵はアフリカムードで盛り上がった。



ブレードは
編み込みが
細かくて素敵な
ヘアスタイル。



アフリカ各国を
わかりやすく
紹介